

2025 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療心理科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|-------|-----------------|---|-----------------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 心理特論Ⅴ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 前期 火曜1限 | 教室名 | 5校舎8階 |
| 担 当 教 員 | 津田大希 | 実務経験と その関連資格 | 臨床心理士・公認心理師として、関西福祉科学大学EAP研究所で心理支援に従事。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| システム理論とその理論を活用した家族療法の視点・技法を学ぶ | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験の点数70% 出席点20点 小テスト・受講態度10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| パワーポイントの配布資料、映像資料、PC、プロジェクター | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 講義までに前回の資料を必ず復習すること。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 家族のみならず、システム論的視点や技法は対人援助全般で活用できます。システム論的視点を学び、活用できるように取り組みましょう。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | なぜ人間に「家族」が生まれたのかについて進化的背景を踏まえて説明できる。 | PC プロジェクター 配布資料 | 配布資料を確認する。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 人類家族の進化的背景を学ぶ。 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「家族とは何か」について自分なりに説明できる。 | PC プロジェクター 配布資料 | 講義前に第1回の講義内容を復習すること。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 家族とは何か、そして家族がどのような機能を果たしているのかについて考えながら学ぶ。 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 現代家族を取り巻く問題をデータをもとに説明できる。 | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | データをもとに現代家族の問題を学ぶ。 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族の発達と課題を理解し説明できる。 | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 家族がそれぞれのライフステージの中で向き合うべき課題や危機について学ぶ。 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族システム理論について説明できる。 | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | システムの特徴について学ぶ。 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|-----------------------|-------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる① | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 家族療法の鍵概念について学ぶ。 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる② | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 構造派家族療法の概要について学ぶ。 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる③ | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例を通じて、家族構造のアセスメントを学ぶ。 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる④ | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | コミュニケーションアプローチの概要を学ぶ。 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる⑤ | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 多世代派、戦略派、ナラティブアプローチなどの家族療法の概要を学ぶ。 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる⑥ | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ソリューションフォーカストアプローチの概要を学ぶ。 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族療法について説明できる⑦ | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例を通じて、ソリューションフォーカストアプローチの技法を学ぶ。 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 家族アセスメントについて説明できる。 | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例を通じて、家族へのアセスメント方法を学ぶ。 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例検討 | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | システム論的視点から見立て、介入法を検討する。 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめと振り返りを通じて知識をアウトプットできる。 | PC プロジェクター 配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 今までの講義を振り返り、システム理論と家族療法についての知識・技法を再度理解する。 | | |